

## 第 33 回大東スポーツカーニバル（体育協会まとめ）

### 概 要

- 開会式 ・日時 平成 24 年 10 月 6 日（土） 午後 5 時～開会式（式典・講演会）  
・大東市立市民会館 4 階 大会議室
- 競 技 ・日時 平成 24 年 10 月 8 日（祝・月） 午前 9 時～午後 3 時  
・大東市立市民体育館ほか 9 会場
- 参加者 別紙のとおり
- 予算関係 収支決算書（別紙のとおり）
- 総 括 事前の問い合わせも多く、昨年度とほぼ同数の参加者があり、また新たに体育館敷地で模擬店を試行したことから、お祭りの様相を呈し、「地域でスポーツを楽しむ」という趣旨が浸透しつつある。今後、事前啓発や競技内容の集中や充実により、参加者数や満足度を増す必要がある。

### 開 会 式 関 係

- 準備、後片付け
  - ・ 集合から受付開始時間真で 30 分しかなく、余裕を持って作業が出来ず、後 30 分程度集合を早める必要がある。
  - ・ 上記を考慮しても、事前に役割分担を明確にしたこともあり、各連盟 1 名であっても準備は円滑に進められた。
- まとめ
  - ・ 講演会（約 1 時間）の内容は、関係者にとって有用であった。
  - ・ 来賓の出席者数が例年より少なく、また講演会への連盟の参加者については、全くなしや 5 名に達していないところもあり、出席確保の課題が残った。

### 競 技 関 係

- 準備、後片付け
  - ・ 体育館の駐車場整理や模擬店や受付場所設定は、担当連盟の協力により円滑に実行されたが、より円滑化には、部署ごとの担当制が必要である。
- 事故が 2 件発生し、内 1 件は入院を余儀なくされた。
- まとめ
  - ・ 連盟の協力もあり、参加者数の目標確保は、達せられたのではないか。
  - ・ 開会式や競技内容で工夫を凝らしている連盟もあったが、初心者体験コーナーの充実は、拡充や継続への課題として残った。
  - ・ 来年度以降は、参加者数の確保が比較的多く見込める競技（2～3 競技）とあわせて、会場をある程度体育館中心にまとめて実施する工夫が必要ではないか。（←東部地区に偏在するが）

## 第 33 回大東スポーツカーニバル(参加人数)

＝生涯スポーツのまちをめざして！＝

### 1 実施内容

□ 開会式（10月6日（土））午後5時～ 市民会館

○ 来賓：12名、主催者：10名、実行委員会関係者（体協除く。）：26名、体協関係者：70名 計 119名

□ 10月10日（月・祝）午前9時 ～ 午後3時

施設名	種目名	参加人数（内役員等）
市民体育館大体育室（南側）	大運動会	241名
市民体育館小体育室	相撲	50名
寺川公園・体育館多目的室	体力測定	88名
四条中学校・体育館	キンボール	32名
四条体育館・来ぶらり四条	カローリング	105名
テニスコート	テニス	77名
龍間運動広場・グラウンド	軟式野球	58名
龍間運動広場・多目的グラウンド	山岳	39名
住道中学校・体育館	バドミントン	119名
谷川中学校・グラウンド	グラウンド・ゴルフ	195名
中垣内浜公園	ゲートボール	90名
計		(1,094名)

□ フィットネス体験：午後3時半～体育館指定管理者協力

123名（1部60名、2部63名）

□ 合計

119名 + 1,094名 + 123名 = 1,336名（▲108名）

【参考：第32回大東スポーツカーニバル・参加者数】

番号	種目	参加者数	備考
1	開会式関係	来賓：15名、主催者：11名、 実行委員会関係者（体協関係者 含む。）：71名 計：97名	
2	13競技関係	1,195名	
3	ボディコンバット関係（体 育館指定管理者）	152名	
計		1,444名	

## 第 33 回（平成 24 年度）大東スポーツカーニバル・収支決算書

## ○収入の部

（単位：円）

費 目	予 算 額	備 考
スポーツカーニバル 事務業務委託料	445,000	市からの委託料
合 計	445,000	

## ○支出の部

費 目	予 算 額	備 考
会場使用料	25,000	開会式市民会館使用料（冷房費 4,000、プロジェクター使用料 1,000 含む。）
印刷製本費	51,450	啓発チラシ・啓発ポスター (50,400)、カラー印刷(1,050)
傷害保険料	66,334	傷害保険
参加賞品費	51,480	ティッシュペーパー箱(51,480、 1,300 個)
消耗品費	18,717	施設配布文具等(3,073)、消毒関 係(3,244)、印刷用紙代(7,140)、 プリンター用インク(5,260)
報 償 費	10,000	ポスター作成謝礼(10,000)
諸 雑 費	181,830	消耗品購入(15,000 円×10 連盟)、 郵送料(960)、幟クリーニング (30,870)
事 務 費	40,189	体育協会事務費：40,189
合 計	445,000	

## 来年度実施に向けて

### 総 括

- ① 過去 2 回にわたり、体育協会全競技連盟(18)が初心者体験コーナーを中心に各地域・施設で実施 ⇒ 競技においては、馴染まないものもある（「スポーツデー」で代替）。
- ② 時間確保を目的に、開会式を競技日と分離し、市民会館で開催 ⇒ 参加者の負担軽減や経費削減からも 1 日で可能（午後も実施可能、模擬店の設置）
- ③ 従来の参加者数（400 人程度）から 3 倍(1,500 人程度)に増加 ⇒ 地域での実施、啓発の拡大(市民まつり、HP)

### 方 向 性

#### 『集中型』

- 競技を絞り、体育館周辺と来ぶらい四条に集中(東部に偏在)
- 競技開始前に開会式を実施(30 分程度、他の団体は役員参加)
- 模擬店を設置
- 啓発の多様化

#### 『分散型』

- 「体育に日」は、市施設を無料開放、連盟がカーニバルを実施(施設が重複し、調整が必要)
- 啓発や競技内容を各連盟が工夫

#### 『代替型』

- 「市民まつり」の日に隣接地(住道中学校を中心に)で体力測定と数競技を実施
- 参加者確保は容易
- スポーツ基本法との関係(体育の日の行事)
- 安全面での検討(まつりの雰囲気)